



# くじ

# 市議会だより

第 23 号

2011年  
(平成23年)  
8月15日発行



— 市民総合プールで水泳を楽しむ子どもたち —

主な  
内容

- ・市議会を読む 6月定例会…………… 2～3
- ・委員会の審査から…………… 4～5
- ・一般質問・各会派の関連質問…………… 6～13
- ・意見書／傍聴席からひとこと…………… 14

発行／久慈市議会 編集／久慈市議会広報編集特別委員会 電話（直通）0194-52-2188  
（ホームページ）<http://www2.city.kuji.iwate.jp/gikai/>

# 市議会を読む

## ◎第28回市議会6月定例会

# 被災者支援、復旧復興など 震災対応に議論が集中

7月23日にオープンした  
侍浜岩場海水プール



第28回市議会6月定例会は、6月16日から6月28日までの13日間の会期で開かれました。

6月定例会では、東日本大震災関連を中心とした平成23年度一般会計補正予算など市長提出議案12件と議員発議案3件について審議を行い、すべての議案を承認、可決、同意しました。

一般質問では、各会派を代表して4人、個人で4人の議員が登壇して質問を行い、津波対策、震災の復旧・復興について議論が集中しました。  
東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会は、付託案件の審査を終了し、調査を終結しました。

## 補正予算

一般会計と特別会計などの補正予算4件は、原案のとおり可決しました。

### ●平成23年度一般会計補正予算（第2号）

今回の補正は、東日本大震災

災に伴う災害対応に係る経費などを計上し、既定の予算額に歳入歳出それぞれ8億280万1千円を追加し、補正後の予算総額を214億7118万3千円とするもので、原案のとおり可決しました。

- ・地震津波等災害復旧経費  
がれき分別処理委託料ほか  
2億4167万9千円
- ・市議会議員選挙執行経費  
1354万1千円
- ・執行経費  
1567万7千円
- ・介護サービス施設等整備臨時

- ・時特例事業費補助金  
小規模多機能型居宅介護施設、認知症高齢者グループホーム整備事業費補助  
6600万円
- ・水産業共同利用施設復旧支援事業費補助金  
市漁協に対する魚市場用器具類整備補助  
3867万8千円
- ・さけ・ます生産地震災復旧支援緊急事業費補助金  
久慈川漁協に対するさけ捕獲施設・ふ化場修繕  
2363万5千円
- ・産地魚市場緊急支援事業費補助金  
市漁協に対する鮮魚タンク整備補助  
2480万円

# 議案等審議結果

## 第27回市議会臨時会

### 【補正予算】

- 平成22年度久慈市一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成22年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（専決第1号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成22年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算（専決第1号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成22年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（専決第1号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成22年度久慈市水道事業会計補正予算（専決第1号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成23年度久慈市一般会計補正予算（第1号）
- 平成23年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 平成23年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成23年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成23年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成23年度久慈市水道事業会計補正予算（第1号）

### 【条例等】

- 市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 応急生活資金貸付基金条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 東日本震災に伴う市税の納期の特例に関する条例

### 【議員発議】

- 久慈市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

承認	＝全会一致
承認	＝全会一致
承認	＝全会一致
承認	＝全会一致
承認	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
承認	＝賛成多数
承認	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致

- ・ 中小企業被災資産修繕事業費補助金
  - ・ 被災した中小企業の店舗、工場等の修繕の一部を補助
  - ・ 学校維持補修経費
  - ・ 山根中学校増築改修
  - ・ 現年発生補助災害復旧事業費
  - ・ 道路橋梁災害復旧費
  - ・ 河川災害復旧費
- 848万5千円  
2147万1千円  
1億円  
6970万7千円  
9546万4千円

## 条例等

条例の新設、改正などの議案4件を審議し、すべて原案

- ・ 漁港施設災害復旧費
  - ・ 都市公園災害復旧費
  - ・ 消防屯所災害復旧費
- 848万5千円  
2147万1千円  
6814万2千円  
1220万円

## 第28回市議会6月定例会

### 【補正予算】

- 平成23年度久慈市一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成23年度久慈市一般会計補正予算（第2号）
- 平成23年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成23年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成23年度久慈市水道事業会計補正予算（第2号）

### 【条例等】

- 市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 基本構想審議会条例の一部を改正する条例
- 学校施設整備基金条例
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少の協議に関し議決を求めることについて
- 岩手県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて

### 【人事】

- 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて

### 【議員発議】

- 原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書の提出について
- 原子力エネルギー政策を転換し、自然エネルギーの普及促進を求める意見書の提出について
- 東日本大震災からの早期復興に向けての支援強化を求める意見書の提出について

承認	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
承認	＝全会一致
承認	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
承認	＝全会一致
承認	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
同意	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致
原案可決	＝全会一致

- のとおり可決しました。
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少の協議に関し議決を求めることについて
- 岩手県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて

## 人事

- 人権擁護委員候補者に嵯峨左千夫さん（十八日町）を推薦することに同意しました。

## 議員発議案

- 原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書の提出について

- 原子力エネルギー政策を転換し、自然エネルギーの普及促進を求める意見書の提出について
- 東日本大震災からの早期復興に向けての支援強化を求める意見書の提出について
- 詳しくは14ページの「意見書」をご覧ください。

## 臨時議会

第27回臨時会は、4月26日、会期1日の日程で開催されました。

東日本大震災に伴う災害対応に係る補正予算など市長提出議案14件、議員発議案1件を審査し原案のとおり可決しました。

●久慈市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

議員の発議により、震災に伴う被災者支援などに充てるため市議会議員の報酬月額を5月から3月まで10%減額するものです。

## 総務

総務委員会に付託された議案2件及び請願2件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

### ●基本構想審議会条例の一部を改正する条例

地方分権改革推進計画に基づき、地方公共団体の自由度の拡大を図る観点から義務付け等の見直しが行われたことに伴い、地方自治法の一部が改正され、同法第2条第4項に規定する議会の議決を経て定める基本構想の策定義務が削除されたことから改正をするものです。

【問】基本構想の策定と議会の議決という法的な義務付けがなくなるが、今後も基本構想を策定するのか、また策定する場合、議会の関与をどのように考えているのか。

【答】基本構想は市政を運営するにあたって、最も重要な指針となるものであり、今後も策定していく方針である。

また、策定にあたっては、議会へも詳細な説明を行い、

# 委員会の審査から

総務、教育民生の各常任委員会は6月23日に、東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会は4月5日・26日、6月16日にそれぞれ委員会を開き審査しました。

説明責任を果たしていきたい。そのほか議員提案による議決条例の制定、基本構想審議会の中身、地方分権改革の内容などについて質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり決しました。

## 教育民生

教育民生委員会に付託された議案2件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

### ●学校施設整備基金条例

市立小学校の施設の改築、増築、改修等の必要な経費に充てることを目的とした基金を新たに設置するものです。

【問】枝成沢小学校の校舎の財産処分に対して基金を積み立てることが条件となった理由は。

【答】耐用年数にあたる処分制限期限内に国庫補助を受けて整備した建物等を財産処分する場合には、文部科学大臣

の承認が必要であることから、国庫補助事業完了後10年以上を経過した、枝成沢小学校の校舎を有償で貸し付けるためには、承認の条件として国庫納付金相当額以上の基金を積み立てる仕組みになっている。そのほか基金の処分、契約の形態、文部科学大臣が特に認める場合に当たる財産処分の方法、教員宿舎の教員以外



小袖地区の排水処理施設の調査をする産業経済委員会



浄化センターを調査する建設委員会

決の結果、全員異議なく原案のとおり決しました。

付託議案のなかった産業経済委員会、建設委員会では、所管事項調査を行いました。

## 東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会



城内災害対策特別委員長

東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会（城内仲悦委員長、議長を除く全議員で構成）は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う津波災害に係る被害状況調査及び復旧対

策に関する事項について調査することを目的として第26回市議会3月定例会最終日の本会議において設置されました。4月5日に第1回の委員会を開催し、当局より東日本大震災に係る市の対応について資料の提供を受け、この説明を受けたのち、被災状況について現地調査を行いました。4月26日に開催した第2回委員会では、あらかじめ当局に対し12項目、50問の質問事

項を提出し、これに対する回答を受けたのち、活発な質疑・答弁が交わされ、意見の開陳が行われました。

第3回の委員会は6月16日に開催し、当局から最新の市の対応について説明があり、これに対し委員の調査をふまえた質疑を行った後、本定例会で付託された請願の審査を行いました。

東日本大震災からの早期復興へむけての支援強化を求める請願は採択と決しました。

# 復興計画協議案を了承しました

## 3・11の大津波から4カ月が経過 久慈市復興計画 新たな視点による 新たなまちづくり

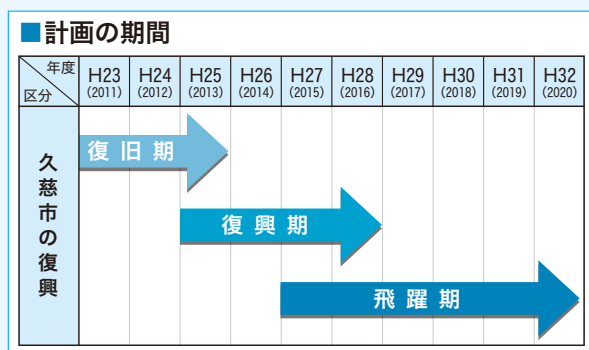
### 議員全員協議会

7月22日、市長からの要請により、議員全員協議会が開かれました。

協議会では、久慈市復興計画の策定について協議が行われ、協議案は了承されました。

この復興計画は、市民がこの壊滅的な被害から一日も早く立ち直り、明日への希望を失わずに前進していくための羅針盤とするため策定するもので、計画の期間は、平成23年度を初年度、平成32年度を目標年度とする10か年計画とし、復旧期・復興期・飛躍期の3段階に分けて取り組むこととしている。

また、計画の基本理念については、単に従来の久慈市の姿に戻すのではなく、これまで以上の久慈市を築き上げるためには、従来の観念にとらわれない自由な発想と新しい

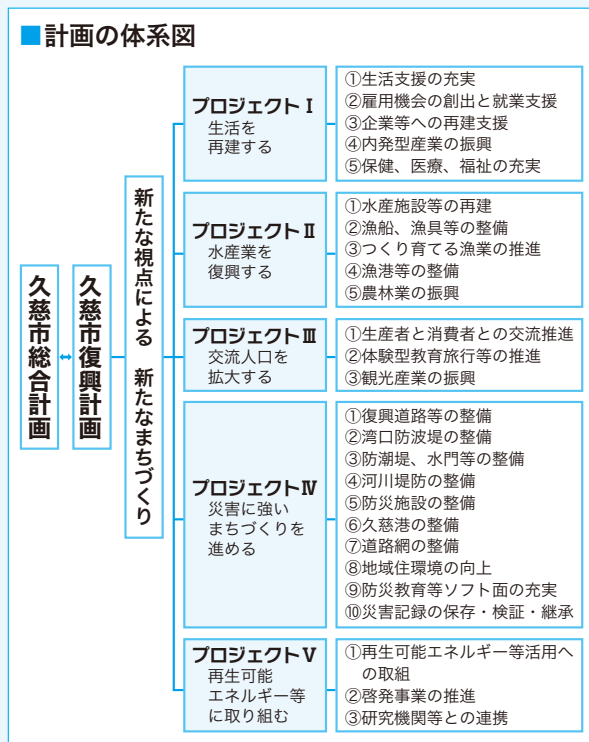


視点が必要と考え、計画の目標を「新たな視点による新たなまちづくり」としている。「まちづくりの土地利用方針」について、被災地域の居住意向に関するアンケート等に基づき、基本的にはハード対策とソフト対策を組み合わせ、震災前と同じ場所でのまちづくりを進めることとしている。

### 久慈市復興計画

ただし、地区ごとに住民の意向に特性があることから、今後とも地区での話し合いや意見交換を十分に行い、住民の合意形成が図られた場合には、集団移転についても検討するとしている。

「重点プロジェクト」については、復興ビジョンを踏まえ、5つのプロジェクトに、26の施策を掲げ、具体的な取組や



事業を推進するとしている。

### 主な質疑の内容

【問】国の制度を活用し住宅を建てる被災者に対し、市では利子補給制度を構築する考えはないか。

【答】被災者の住宅再建に係る利子補給等について、検討が必要になるものと思っております。

【問】被災者が高台移転を希望している場合の対応はどのようなになるのか。

【答】意見交換会では、本当に切実な要望等も受けている。要望等を受け止めながら対応を検討したい。

【問】被災者の住宅再建相談等についての対応は。

【答】被災された地区の方々との意見交換会をこれから設け、要望等を聞きながら対応していきたい。

### 被災見舞

ご支援ありがとうございます

今回の大震災に対して、各市町村の議会から被災見舞が寄せられました。

●鹿角市議会議長：救援・支援物資（食品） ●鹿角市議会議長：見舞金 ●盛岡市議会議長：見舞金 ●盛岡市議会議長：見舞金 ●全国市議会議長会様：見舞金

当市にご支援をいただきました多数の市町村、個人、企業の皆様に感謝申し上げます。



議長に物資を手渡す鹿角市議会議長

## 復興計画の財源確保の見通しは

### 市長―選択と集中による財源の重点的かつ効率的な活用に努める

【問】市民が震災から一日も早く立ち直り、前進していくための羅針盤となる復興計画を速やかに策定するために財源が必要となるが、復興計画の財源確保の見通しについて示せ。

【答】これまで市長会及び岩手県沿岸市町村復興期成同盟会等を通じて、また直接に関係機関等に対し早期復旧復興に向けた財政支援等の要望をしてきたところである。

策定中の市復興計画を着実に推進し、一日も早い復興、そして飛躍を実現させていくために多額の事業費が必要になると考えている。総合計画後期基本計画と一体となって調整を図り、一層の選択と集中による限られた財源の重点的かつ効率的な活用に努めて

いく必要がある。引き続き地方財政措置等の拡充を強く要望していきたい。

【問】当市の義援金の額と配分の状況は。

【答】当市への義援金は、6月10日現在で約5566万円となっており、配分については県内で最も早く4月26日から人的被害及び住宅被害を受けた方に対して給付している。

また、6月1日に東日本大震災久慈市地震災害義援金配分委員会を設置し、漁業者に対する義援金給付の事務を進めており、この給付により約7割が配分される。

### 漁業者に対する支援を

【問】漁業者に対する資金援助等を考え支援すべきと思うが

考え方を示せ。

【答】漁業者に対する市の独自支援策として、函館義援船の調達。漁業者の再生産活動に必要な漁具、船外機などの購入支援のため久慈市漁協・漁業復興対策事業に対し助成している。

【問】震災に遭った商店、漁師、個人等の多くは、返済中のローンに加え、生活再建のためのローンを利用せざるを得ない。当市でも何らかの対応を考えるべきでは。

【答】被災者の二重ローンについては、国がその救済策について協議を進めており、今後その指針が示されるものと考えている。

市としては県の融資制度に対する利子補給、保証料補給を行うほか、県等の助成制度



久慈港に陸揚げされる函館市からの義援船

の活用を促していきたい。

【問】震災被害による生活保護受給者の状況を示せ。

【答】この度の震災による生活保護受給者は、入所施設の被災による転入が1名となっている。今後震災による離職、失業、雇用保険や義援金の給付の終了等に伴い相談の増加が見込まれることから、引き続き丁寧な相談業務や就労支援に努めていきたい。

## 新政会

◆上山 昭彦 議員

新街橋の復旧を早急に

【問】新街橋は、震災の影響で車両の通行止が続いている。防災の観点からも避難橋として架け替えの考えはないか。

【答】新街橋は、東日本大震災により橋面に亀裂が生じた



## 各会派の 関連質問

一般質問は、6月22日・23日の2日間行われ、各会派を代表して、中平浩志、大沢俊光、城内伸悦、畑中勇吉の各議員が代表質問を、小倉建一、梶谷武由、山口健一、山田光の各議員が個人質問を行いました。

また、各会派では関連質問を行いました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

## 県北沿岸地域をリードする拠点都市づくりの推進策は

市長—市民と行政が一体となったまちづくりを進めたい

【問】県北沿岸地域をリードする拠点都市づくりの推進策をどのように描いているのか。

【答】市総合計画後期基本計画が本年度からスタートし、基本構想に掲げる六つの基本方針に基づき市民と行政が一体となったまちづくりを着実に推進していきたい。中でも雇用の場の創出と確保は、東日本大震災とも相まって、本市の最重要課題と認識している。今後総合計画後期基本計画と復興計画との実施計画を連動させながら、県北拠点都市にふさわしいまちづくりを進めていきたい。

### 海岸水門を自動開閉式に

【問】海岸水門を自動開閉式にするよう、県に強く要望すべきでは。

【答】当市の海岸水門は28門あり、そのすべてが人力による手動操作であることから、これまで県に対し継続して遠隔操作化を要望してきたところである。遠隔操作化は喫緊の課題であり、今回の震災等も踏まえ、強く要望していきたい。

たい。

【問】宇部川地区ほ場整備事業の今後の進展について示せ。

【答】平成22年度に着手している県単独の調査計画事業に今年度は国庫補助事業を導入している。

県では、これまでどおり平成25年度国庫補助事業採択を目指しており、市としては今後においても県、野田村と連携を図りながら事業促進に努めたい。

【問】「まちなか水族館」を街なか再生の拠点としては、また、もぐらんぴあの再建も進め、さかなクンを当市の観光大使としてはどうか。

【答】地下水族科学館もぐらんぴあは震災被害により利用できなくなっていることから、



人力で開閉する防潮ゲート

緊急雇用創出事業により街なかの空き店舗を活用し、「まちなか水族館」の開設準備を進めている。

さかなクンは、もぐらんぴあの夏休み企画として震災前から毎年、来久していた縁から小学校等の施設訪問や東京海洋大学教授との合同講演会の開催などの支援をいただいている。今後においても可能な限り応援をいただきたいと考えている。

【問】八戸久慈自動車道、三陸北縦貫道宇部野田間について、バイパス機能及び防災機能を備えた復興道路として整備するよう、国、関係機関に強く要望すべきでは。

【答】今回の東日本大震災により国道45号が各地で寸断されたが、被災地における完成済の高規格道路は、避難道路や緊急物資の輸送路として有効に機能し続けた。

市としては、策定中の復興計画においても必要不可欠な復興道路として位置づけており、早期の全線完成に向けて改めて国、県に対し強く要望していく考えである。

ことなどから応急的な補修を行い、歩行者や自転車の通行は確保している。車両の交通制限の解除は、7月末の国の災害査定の結果を踏まえ対応したい。

橋の架け替えの必要性は十分認識しているが多額の工費を必要とすることから当面は利用者に支障のないよう橋の適切な維持管理に努めたい。

【その他の質問】●災害時の電源確保 ほか

◆泉川 博明 議員

できるだけ早い水門の復旧を

【問】水門及び陸こうが津波により機能を失っている箇所がある。水門等の早期の復旧について示せ。

【答】震災により水門及び陸こうが甚大な被害を受け、扉体が外れるなど支障を来しており、現在応急復旧により対処している。

本復旧の見通しについて県北広域振興局からは、被害が甚大で復旧時期は早期の復旧を目指すとしか言えないとのことであり、引き続き県に対して早期復旧を強く要望していきたい。

# 一般質問

日本共産党久慈市議団代表 城内 仲悦 議員

## 市道寺里線に歩道整備を

### 市長―路線の調査・検討する

【問】久慈小学校への重要な通路である市道寺里線に歩道整備が早急に必要であり、今であれば用地の拡幅は可能である。子ども達の安全を確保するために歩道を設置すべきでは。



歩道整備が必要な市道寺里線

【答】市道山岸線との接続から久慈小学校までの市道寺里線270m、赤線200mの約470mについて、用水路が道路と並行しており幅員の確保を考えた路線の整備が必要であり、調査をしながら検討する。

【問】寺里から天神堂、門前までの老朽化した用水路の抜本改修策を示せ。

【答】この用水路は大川目町から湊町までの重要な幹線水路であるが、寺里から天神堂、門前までは、農業振興地域外

【問】定置網漁への支援について、みなし法人も共同利用漁船等復旧支援対策事業の支援対象に入れるよう要望すべきではないか。

【答】国の第1次補正の共同利用漁船等復旧支援対策事業を活用し漁船、定置網等を整備していきたい。みなし法人も対象となるよう要望するとともに、漁協が事業主体となって事業導入できないか検討しており、9月の秋サケ漁に間に合うようにしたい。

### 自家発電装置の設置を

【問】今回の大地震でも明らかになったように、長期の停電によって多くの市民が不自由な生活を強いられた。避難所となる地区公民館や学校、水道水源施設などに自家発電装置を設置すべきでは。

【答】配置方法を含め適切な整備について検討していきたい。水源のある田高ポンプ場の

自家発電装置については、今後400ボルトに対応した、出力220キロワットアンペアの屋内型発電機を設置することとしている。

【問】旭町地区内の下長内旭町線と門前源道線との交差点に信号機を設置すべきでは。

【答】県で設置のための予算化をしていたが大震災で予算の凍結となった。公安委員会では予算凍結解除の方向であり、早期に信号機が設置されるよう要望していく。

【その他の質問項目】福島原発事故/国民健康保険制度の広域化問題/在宅介護支援等/生活支援ハウス/オーライ！ニッポン大賞/被災住宅の補修への助成/東日本大震災の被害対応/長内小校庭への津波被害 ほか

【その他の質問】●水産関係施設・漁港施設等の復旧 ほか

◆木ノ下 祐治 議員

JR八戸線の復旧の見通しは

【問】JR八戸線、三陸鉄道が被災し、地域住民は大変不便な状況にある。復旧の見通しを示せ。

【答】JR八戸線は階上駅から久慈駅間において運休しており、三陸鉄道北リアス線では今なお小本駅から陸中野田駅間が復旧しておらず、南リアス線では全線において運休している状況である。

復旧はいずれも被害が甚大なだけに運転再開までには相当の期間と多額の財源を要するとされており、具体的な復旧時期の見通しが立っていない。陸中野田から田野畑間は、運転開始のめどを平成24年4月とする一次復旧に位置づけられている。

【その他の質問】●災害による林業関係被害 ほか

◆澤里 富雄 議員

国道45号の迂回路が必要

【問】野田村総合運動公園に通じる道路の新設は、久慈工



## 八戸・久慈自動車道路を津波避難路に活用すべき

### 市長一有効な方法と強く認識し、関係機関と協議中

【問】八戸・久慈自動車道路は津波避難路に有効であり、活用に向けて関係機関に要望の考えは。

【答】津波発生時において、八戸・久慈自動車道路への避難は住民が迅速に避難できる有効な方法と強く認識しているところであり、活用できるよう東北地方整備局三陸国道事務所と協議を進めているところである。



津波避難路に有効な八戸・久慈自動車道路

【問】漁業施設や漁船置き場を高台に移転して安全確保を図るため、魚つき保安林、自然公園法の規制解除が必要と思いが見解は。

【答】漁業施設等を高台に移転し、安全確保を図るため、さきごろ県北広域振興局に施設の高台移転にかかる規制解除について要望したところである。県では、津波浸水区域の住宅等の高台移転先を検討するにあたり、国に法規制の撤廃、簡素化を申し入れているとのことであり、現時点で国の回答は示されていないので、今後、国に対し県と連携を図り要望を継続していきたい。

### 建築制限区域を 条例化する考えは

【問】被災地域の居住意向調査結果及び県で示した建築制限区域を条例化する考えについて示せ。

【答】また、県が示した復興基本計画案では、対津波戦略として「回避型」「分散型」「抑制型」に分類しているが、当市の復興計画策定の考えは。

【答】被災地のアンケートは、床下浸水以上の家屋被害を受けた336世帯を対象に実施した結果309世帯から回答があった。アンケート結果は、岩手大学で分析しており復興

計画に内容を取り込んでいきたい。建築制限については慎重に対応すべきと考えている。減災効果が高いと思われる各種施設に学術的検証を加えてより災害に強いまちづくりに努めたい。

【問】震災の影響による企業の倒産、撤退数とこれに伴う失業者数及び生活支援、雇用対策は。

【答】また、(株)ハチカンについて支援を考えたつ再建に向けて粘り強く取り組みを行うべきと思うが考えは。

【答】震災の影響による企業の倒産、撤退はないものと把握しているが再開の目的が立っていない企業もある。

6月10日現在の離職者は395人、求職者数は42人と聞いている。企業復興による雇用回復のため市・県・国の支援制度の活用促進を図りたい。(株)ハチカンへの取り組みは、出資元の八戸缶詰株式会社の会長を5月12日に市長及び県商工労働観光部副部長で訪れ、支援策を示して再建を要請した。引き続き努力していきたい。

業高校や野田村明内地区に最短でアクセスでき、災害時の迂回路として極めて重要な路線と考えるが新設の考えは。

【答】野田村総合運動公園と宇部町国道45号を結ぶルートは、久慈工業高等学校への通路や野田村との相互交流、連携、さらには災害時の緊急路線としても重要な路線になることは十分認識している。

しかし、道路の新設には、地形も除く多額の工事費が必要となることから、今後財政事情等を勘案しながら検討を重ねていきたい。

【その他の質問】●山積みのがれきの処理 ほかに

### ◆中塚 佳男 議員

#### 湊地区の防潮堤かさ上げを

【問】久慈湊地区の防潮堤のかさ上げは、緊急の課題と思いが防潮堤かさ上げの考えは。

【答】県では、津波防災技術専門委員会を設置し、被害状況等の調査結果や技術的根拠等専門的な知見に基づき、津波対策の方向性、津波対策施設の整備目標等について検討しており、本年9月ごろに方針が示される。

# 一般質問

民主党 小倉建一 議員

## 被災誘致企業の再建、再開に支援を

### 市長―国・県の支援を期待し、その後市の支援を考える

【問】被災誘致企業の再建、再開に向け、市としてできる限りの支援をすべきでは。特に（株）ハチカン久慈工場の再開については、市としてもっと努力すべきと思うが。

【答】国・県の支援を期待しながら、その後には市独自の支援を考えていきたい。（株）ハチカン久慈工場についても、操業できるように市としても努力していきたい。

【問】新市宮野球場の整備に向けた取り組み状況と今後の整備スケジュールは。

【答】建設候補地の地権者への意向打診を進めているところであり、仮設ではなく本設の市宮野球場の建設を目指していきたい。

震災後の整備スケジュール、進め方等については財政担当としっかり協議しながら進め

ていきたい。

【問】大震災の影響及び復興計画策定に伴い後期基本計画に変更はないか。

【答】策定中の市復興計画に掲げる基本理念、施策事業等は、市総合計画と連動する計画として位置づけており、後期基本計画の変更は考えていない。

【問】他市では国内市町村との姉妹都市交流等により災害時の相互援助、特産品などの販

売協力などを行っている。当市の都市交流の現状と今後の推進策は。

【答】国内都市との交流では、首都圏及び仙台市を中心とした教育旅行の受け入れや東京都小金井市での特産品販売、自然体験キャンプのPRなど毎年継続して実施している。

今後の推進策としては、市の豊富な地域資源のさらなる活用と他の分野での交流を検討するなど、関係機関と連携しながら国内都市との交流を図りたい。

【その他の質問項目】市としての東日本大震災への対応、課題の検証／防災モデル地区構想／東日本大震災後の市内雇用状況／自然エネルギーを活用したまちづくり構想／夢ネット事業取り組み状況／次期岩手国体開催 ほか



野球場建設候補地の長内中付近の山林

市としては、委員会の動向を注視するとともに、防潮堤背後地の住民の生命及び財産を守るため、県に防潮堤のかさ上げを強く要望していきたい。

【その他の質問】●公民館への発電機設置状況 ほか】

## 政 和 会

◆藤島 文男 議員

【問】都市計画道路広美町海岸線の整備計画は、変更がな

【答】都市計画道路広美町海岸線は、港湾地区と消防防災本部、中心市街地を結ぶ重要な路線と考えており、今年度から道路詳細設計等順次事業を推進していきたいと考えている。

【その他の質問】●発電機など津波避難所の防災設備充実】

◆砂川 利男 議員

【問】JR八戸線について、

【答】JR八戸線については、市では原状復旧に早急に取りかかるようJRに対して要請をしているのか。

【問】JR八戸線については、

57カ所で被災している。特に宿戸、陸中八木間で橋の流出、線路の流出という被害を受けている。

早期の復旧について、JR盛岡支社と協議をしている。

【その他の質問】●農業振興策 ほか】

◆佐々木 栄幸 議員

【問】当市の津波浸水区域や

【答】市内小中学校では、児童生徒の人的被害はなく各校の震災時における的確な判断と日常の防災教育、訓練の成果としてとらえている。

しかし、避難経路や避難場所などの見直しを必要とするところもあることから、各小中学校では、危機管理マニュアルの改善を行い、今回の震災を踏まえた避難訓練を実施している。

【その他の質問】●自動開閉式海岸水門の要望 ほか】

◆桑田 鉄男 議員

被災企業への市の独自策を

## 被災児童生徒の就学支援策は

### 教育長一学校への適応状況や心のケアに学校と連携し取り組む

【問】今回の災害に伴い、他自治体から避難して来ている児童生徒の状況と就学支援の方策は。

被災児童生徒の準要保護の認定状況は。

【答】他自治体から避難して来ている児童生徒は、小学生8名、中学生1名となっている。学校への適応状況や心のケアの必要性については学校を訪問して様子を聞いています。現時点では順調に適応しているが今後も学校と連携を取りながら取り組んでいきたい。教科書や学用品については確保されている。

準要保護については、被災した全家庭の児童生徒を認定することとし、42世帯66人を認定した。

### 道路側溝等に 安全施設の整備を

【問】台風や大雨時に水量が増す畑田地区の側溝や田中区・寺里地区の改良区の農業用水路へのふたやフェンスなど安全施設の整備計画と畑田川の堆積土砂の除去計画は。

【答】畑田地区の道路側溝整備の必要性は認識しており今後、整備手法等の検討をしていきたい。また、土地改良区の農



旧長内中の校庭に建設された仮設住宅

業用水路への安全施設整備は、管理者の久慈市土地改良区に伝えていきたい。

畑田川の堆積土砂の除去については、現時点で流下能力が確保されていることから、今後の状況を見て対応していきたい。

【その他の質問項目】予算の見直しの事業内容／防災無線の難聴対策／災害時の避難のあり方／安否確認方法／避難所運営の課題／農畜産物の放射能測定／被災地域への建物の建築の考え方／災害に強い浄化センターのあり方／防潮堤の修復・強化策／JR・三鉄の復旧見通し／市道寺里線・長内橋付近への歩道設置計画 ほか

【問】被災した企業の早期再建に向けて、企業を誘致するべきなみの支援をすべきでは。

【答】国・県等の助成制度の活用を促していきたいと考えており、その誘導を図るべく、市独自の支援策として県の融資制度への利子並びに保証料補給を創設した。

状況を見ながら、必要に応じては市の独自の支援策も今後検討する必要があると考えている。

国・県等が定めている、さまざまな支援制度の活用とあわせて県等からもさまざまな便宜供与をいただき進めている。

【その他の質問】●下長内旭町線の県病前交差点に信号設置 ほか

### ◆下館 祥二 議員

#### 自然エネルギー等の推進を

【問】当市の自然条件、立地条件を生かした自然エネルギー開発の可能性も考えられるが、現時点でどのような構想を持っているのか。

【答】当地域では年間日照時間が県内平均を上回ることや、沿岸域の洋上で一定以上の風

速が見込まれることから、まず大規模太陽光発電や洋上風力発電の導入の可能性について検討を進めていくほか、研究開発段階にある波力、海洋温度差による発電などについても導入の可能性について幅広く調査研究していきたいと考えている。

【その他の質問】●復興と地域コミュニティの充実

### 日本共産党久慈市議団

#### ◆小野寺 勝也 議員

#### 太陽光発電装置への助成を

【問】家庭用太陽光発電装置の設置に助成制度を設けるべきでは。

【答】太陽光発電は、自然エネルギーを推進するうえで重要なエネルギーの一つであり、今後復興計画の実施計画の中で、助成制度のあり方等を検討していきたいと考えている。

【その他の質問】●高齢者のための生活支援ハウス ほか

### 清風会

#### ◆堀崎 松男 議員

#### 大湊地区の堤防のかさ上げを

【問】久慈川・長内川の堤防のかさ上げや、無堤区間の整

# 今後の湾口防波堤の整備見通しは

## 市長―早急な建設に向け、国・県に強力に要望



早期の完成が望まれる湾口防波堤

ら国に要望を続けてきたが近年予算が削減されている。これまで防波堤は命のとりでであり人を守る施設として訴えてきたが、今後とも早急な建設に向け県・国等に強力に要望していきたい。

**【問】**災害発生時に行政の素早い対応が求められる中で、当市でも平時から被災者支援システムを構築すべきと思うが考え方は。

**【答】**今回の大津波に対し、建設中である湾口防波堤は一定の効果があったとされており、津波対策として早期の完成が望まれている。今後の整備見通しは。

**【答】**湾口防波堤については、これまでも早期整備が図られるよう関係機関と連携しながら

**【答】**今回の東日本大震災にかかる当市の対応としては、平成22年度に新たに作成した地域防災計画において各部署、各班が相互に連携し、早急な災害者支援をしたところであり、今後は提案のシステム等より効果性の高いシステム構築に努めていきたい。

**【問】**防災無線は住民にとって重要な情報源であるが、家の

中や移動中の車などでは聞き漏らすこともある。放送内容を聞くことができる音声自動応答サービスを行っているが市民の理解が進んでいないように思う。そこでフリーダイヤルなどによる周知の仕方を検討すべきと思うが考えは。

**【答】**防災無線で放送した内容を電話で聞くサービスについては、平成18年2月から運用開始し、市民の情報提供に努めたところである。今後市民への周知の仕方については色々と検討していきたい。

**【問】**親子で絵本に親しんでもらおうとセカンドブック事業を行っている自治体もあるが当市の考え方は。

**【答】**乳幼児から読書に親しみやすいよう図書の充実を図るとともに、読み聞かせ会等を実施したい。

備は喫緊の課題である。河川堤防の整備要望の考えは。

**【答】**久慈川・長内川の堤防のかさ上げや無堤区間の整備については、これまでも河川管理者である県に対し要望している。

今回の東日本大震災の大津波は、久慈川・長内川を遡上し、一部区間で越水が見られ、背後の住宅等が被害を被ったところであり、改めて堤防のかさ上げの必要性を強く認識した。今後も河川堤防の整備について重点事項として県に対し強く要望をしていきたい。

### ◆八重櫻 友夫 議員

**久慈駅前親光バス駐車場を**

**【問】**久慈駅前親光バスを2、3台駐車できるようにスペースを確保する考えはないか。

**【答】**駅前にバスの駐車スペースを設けられるようスペースの有無を含めて、JRとも今後相談していきたいと考えている。

**【その他の質問】**避難所の適正化と備品の充実 ほか

### ◆高屋敷 英則 議員

**雪害による倒木対策は**

**【問】**年末年始の雪害による倒木が放置されたままになっているが、雪害による倒木対策は。

**【答】**年末年始の雪害による倒木対策については、森林国営保険に加入している場合は、補償の対象となり、また補助事業を活用して被害木の除去が実施できることから、関係機関・団体と連携して、制度の普及・啓発に努めている。

**【その他の質問】**食の安全と都市との産直交流 ほか

## 議員表彰

次の議員が平成23年6月15日、全国市議会議長の表彰を受けました。

### ●特別表彰

- (議員) 20年以上
  - 下斗米 一 男 議員
  - 大沢 俊光 議員
  - 八重櫻 友夫 議員
- 一般表彰

- (副議長4年以上)
- 濱 欠 明 宏 副議長

# 市長の災害復興に対する思いは何か

## 市長一復旧復興費用の一括交付の制度化が必要



拡幅整備が必要な市道二子小袖沢線

**【問】**復興に対する思いのなかで、市では国・県の災害復興関連施策において何が課題と捉えているのか。

**【答】**発災直後から被災者の生活再建、被災企業の操業再開を果たすための措置を行うことが重要であると考えており、速やかな対応も求められていることから、復興院の創設、費用の地方自治体への一括交付の制度化が必要だとの思いに至り、関係機関に機会あるごとに提言している。

**【問】**市道上長内平沢線、二子小袖沢線の早急な拡幅整備が必要では。

**【答】**未改良区間の大部分の用地が筆界未定のため用地確保が困難な状況であり、当面は待避所の増設を検討することとし、整備可能なルートや整備手法等の可能性を検討していきたい。

**【問】**山形町の統合簡易水道計画の進捗状況は。

**【答】**水源汚濁対策として川井、関、小国の簡易水道を統合し、清水川湧水を水源に浄水処理施設等の整備を計画中であり、来年度の事業着手に向け県と事前協議を進めている。

**【問】**市道上長内下長内線の側溝及び水路の管理は適切にされているのか。

**【答】**市道上長内下長内線沿いの水路管理者は、久慈市土地改良区である。水路の流路機能は維持されていると認識している。

**【問】**国道281号森中交差点下を通る森中地域の雨水排水路の管理はどのようになっているのか。また、整備すべきでは。

**【答】**当該排水路は、以前は農業用水路となっていたが、現在は地域の雨水排水路として法定外公共物となっており地域の皆さんのご協力で維持されている。当該水路の整備については、引き続き整備手法等を検討していきたい。

**【その他の質問項目】**市道谷地中川線、樋ノ口線の舗装整備／中沢団地の道路整備／国・県の議員との連携／要援護者名簿の共有化 ほか

### 平成22年度 政務調査費の執行状況

平成22年度、市から各会派等が交付を受けた政務調査費の執行状況を報告します。  
 政務調査費は、会派等が調査研究するための経費の一部として交付されるもので、本市では議員一人当たり月額5千円を交付しています。  
 平成23年度は、東日本大震災の被災者支援などに充あてるため予算の執行を見送ることとしました。

(単位：円)

項目	政和会	新政会	清風会	共産党	宮澤議長	下斗米議員	山口議員	小倉議員	梶谷議員	山田議員	合計
所属人数	7人	6人	5人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	26人
交付額(A)	420,000	360,000	300,000	120,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	1,560,000
使用状況	研究研修費			112,000							112,000
	調査旅費	160,160	296,040	220,000			55,000	49,340	55,000		835,540
	資料購入費	20,623	17,677	14,731	5,893	2,946	2,946	2,946	2,946	2,946	76,600
	広報費								2,000		2,000
	合計(B)	180,783	313,717	234,731	117,893	2,946	2,946	57,946	52,286	59,946	2,946
使用率(%)	43.04	87.14	78.24	98.24	4.91	4.91	96.58	87.14	99.91	4.91	65.78
返還額(A-B)	239,217	46,283	65,269	2,107	57,054	57,054	2,054	7,714	54	57,054	533,860

会派ごとの所属議員は、政和会は大沢議員、下館議員、佐々木議員、濱欠副議長、桑田議員、砂川議員、藤島議員、新政会は中平議員、澤里議員、中塚議員、木ノ下議員、泉川議員、上山議員、清風会は堀崎議員、八重樫議員、高屋敷議員、大久保議員、畑中議員、日本共産党久慈市議団(共産党と表示)は小野寺議員、城内議員です。

# 意見書

## 東日本大震災からの早期復興に向けての支援強化を求める意見書ほか2件

内閣総理大臣ほか関係大臣等へ提出

6月定例会では、議員発議による次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほか政府関係機関などに提出しました。

### 東日本大震災からの早期復興に向けての支援強化を求める意見書

〔概要〕被災者の一刻も早い生活再建と被災地の早期復興に向け、生活の安定を図るため長期に生活できる公営住宅等の確保。被災者生活再建支援法の支援金引き上げと被災者の生活再建に対する支援策

の拡充。被災者の就業支援及び雇用創出と被災した民間企業等に対する、新たな補助制度の創設や金融・税制上の優遇措置。漁業関係者に対する船舶の確保や漁業資材の購入、水産加工施設等の早期復旧と漁港や漁場の早期復旧。防災施設の早期復旧、早期整備。被災地が実情に応じた迅速で柔軟な災害復旧を行うことのできる体制の整備と地方自治体に対する財政支援について強く求めるもの。

### 原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書

〔概要〕福島第一原子力発電所事故の一刻も早い収束と原因究明はもとより、国内すべての原子力発電所の安全を確保するため、原子力安全行政を抜本的に見直し、独立性の高い安全規制委員会の新設。福島第一原子力発電所事故の構造的な要因の徹底的な洗い出し。耐震設計審査等の安全指針についての見直し。既設の原子力発電所の地震対策、津波対策など、抜本的な安全対策を図ること。農業や漁業への風評被害の防止などについて強く求めるもの。

### 原子力エネルギー政策を転換し、自然エネルギーの普及促進を求める意見書

〔概要〕原子力エネルギー政策を転換し、自然エネルギーの普及促進を図るため、既存のエネルギー基本計画を抜本的に見直し、原子力発電所を段階的に縮小すること。自然エネルギーの普及促進に取り組み、低炭素社会への移行すること。自然エネルギーの普及促進への加速的投資をすることについて強く求めるもの。

## 編集後記

3・11の大震災の影響で、市議会議員選挙が伸び7月31日告示、8月7日投票となりました。通常であれば議会だよりの発行は1日にしておりますが、発行日が選挙期間中ということ、8月15日の発行としました。

7名の広報編集特別委員会メンバーで4年3カ月にわたる議会だより第6号から第23号までの編集を行ってききましたが、今号で最後の編集となります。

議会の様子を正確にわかりやすく、そして市民と議会との懸け橋となるよう編集に努めてきました。今後とも「議会だより」が市民の皆さんにご愛読されますことをお願いいたします。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 小野寺 勝也
- 副委員長 小倉 健一
- 委員 山口 健一
- 委員 木ノ下 祐治
- 委員 藤島 文男
- 委員 梶谷 武由
- 委員 畑中 勇吉

## 「何より早い復旧・復興を」

齋藤 政夫 さん  
久慈市宇部町



宇部支所から市議会傍聴の誘いがあったことがきっかけで、6月22日に市議会をボランティア団体「町づくりなんでもベンリー会」の会員17人で傍聴しました。この度の東日本大震災の復

## 傍聴席からひとこと

旧・復興をどのようにするか、聞きたいと思っています。一般質問をされる議員に対し、市長もなかなか本気の答弁をしており、やり取りは身を乗り出して聞きました。しかし、大震災の復旧・復興を口で言うのは簡単ですが財源のことなどを考えると将来的には大変だと思えます。国道45号のルートについて議論されていましたが、そのことだけでも大変だと感じました。何より早い復旧・復興を希望します。

## 地域のために 奉仕活動を展開

私は、出稼ぎをしています。

たが12年前に帰ってきました。「何かやらないか」との思いで、平成17年10月に市の協働のまちづくりと呼称し、川原屋敷、谷地中、大沢の方々約80人の会員によりベンリー会を発足し防犯活動などの奉仕活動を行っています。特徴的な活動として希少昆虫チョウセンアカシジミや幼虫時代をアリの巣の中で過ごすというゴマシジミの保護活動を行っています。

市に対する要望としましては、市道谷地中川線の土埃がひどく周辺では大変困っています。津波の復旧もあり難しいとは思いますが改善を望みます。

